

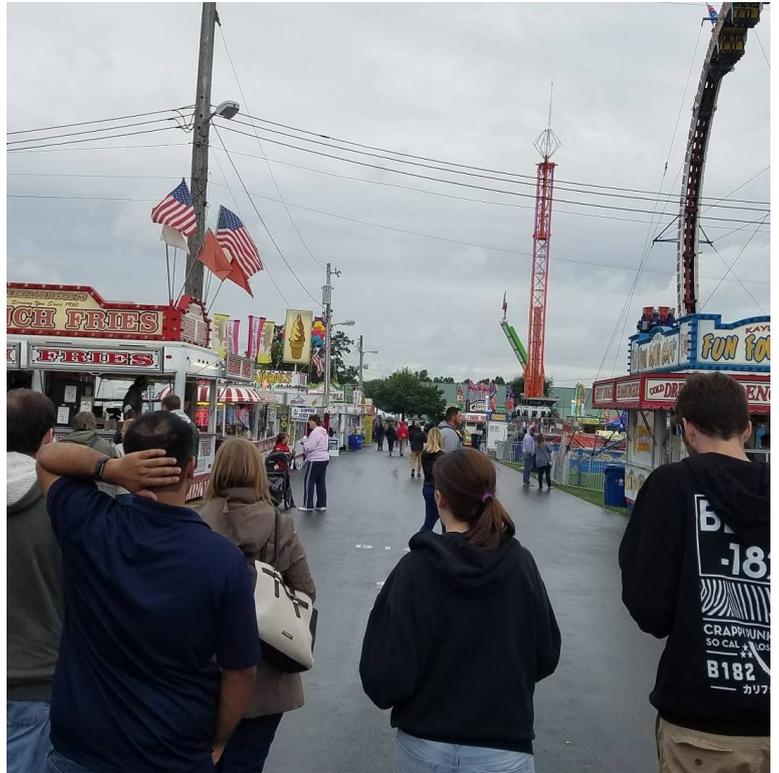
## アメリカの「祭り」

秋が近づくとアメリカ合衆国では「フェア」の季節が始まります。

日本でフェアと言えば、セールや特集の意味合いが強いと私は思いますが、アメリカでは「祭り」のような意味になります。祭りと言っても、神道や宗教的な意味は全くなく、地域の人々で集まってお祝いをするイメージです。

アメリカのフェアは基本的にcounty（カウンティ、郡）もしくはstate（ステイト、州）ごとに開催されます。

僕のふるさとには、郡のフェアが開催される土地「フェアグラウンド」があるので、子どもの頃から毎年足を運んでいました。郡のフェアではありますが、遠くからも多くの人が集まり、色々な活動を5日間かけて行います。会場には、農業畜産のコンクールやオークション、有名な音楽家のライブ、ローカルアートの展示、焼き菓子や漬物のコンクール、馬術の発表会などがあります。



2017年に開催されたキャンフィールドフェアで撮った写真です。屋台や乗り物があります。



青リボン（1位）受賞したカボチャです。（約460キロ！）毎年感動するほど大きく育ったカボチャがコンクールに出品されています。

他にも、ユニークな食べ物や飲み物が並んでいる屋台が山ほどあり、ぶらぶら散歩するだけでも楽しめるので、かなりお勧めです。食べ歩きする前に、乗り物を楽しむこともできるので、プチ遊園地のような感覚で行くと良いと思います。

あまり知られていませんが、フェアは私のような地方出身者が誇りに思うアメリカの文化です。皆さんもアメリカに行く機会があればぜひ体験してみてください！